

# 平成30年度 事業報告

## I. 法人運営の状況

### 1. 社協運営

少子高齢化や地域・家庭のつながりの希薄化が進むとともに、近年多発する災害への備えや社会的孤立、子どもの貧困等が社会問題となるなど地域社会を取り巻く環境は大きく変容しています。こうした社会環境や地域社会、家族・世代間の価値観が多様化するなか、今までの福祉施策・福祉制度サービスでは対応できない生活課題が顕になってきています。

また、子ども・障害・介護等各分野において福祉サービスの見直しが進められるとともに、誰もが尊厳をもって安心して暮らせるよう、住民に身近な市町村を中心として社会基盤の整備が行われているところです。

美咲町においても、老老介護、認認介護、家庭内暴力、虐待等で在宅での生活が困難になり、何らかの支援を必要とする家族・世帯も増えてきています。

こうしたなか、美咲町社会福祉協議会は、地域福祉の推進を使命とし、「すべての地域住民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるようお互いが支えあっていく地域社会を築く」ことを基本(活動)理念の下、一人ひとりを尊重し・個性を活かし、共に生きていくことを大切にした共生のまちづくりに取り組んでいます。

平成30年度は、子どもから高齢者また障がいのある人もない人も全ての人が、住み慣れた地域、家庭で、一人ひとりを尊重し・その人の個性を活かし、共に生きていくことを大切にした共生の地域づくりの推進に努めました。

また、これまでのコミュニティワークや個別支援の実践を基礎に、アウトリーチ(地域に出向いていくこと)を徹底し、地域からの多様な生活課題を、地域を基盤にして解決につなげる支援や仕組みづくりに努めました。

介護保険事業においては、通所介護事業・訪問介護事業・居宅介護支援事業、地域密着型特別養護老人ホーム事業に積極的に取り組み、住み慣れた地域・我が家で安心して暮らせるよう努めました。

2. 役員会等の開催状況

(1) 理事会

開催日	場 所	主 要 付 議 事 項
<p>○第1回 30年6月8日 (理事9名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【会長の専決事項の報告】</b> i)管理者の人事について ii)平成29年度一般会計収支補正予算について <b>【議案】</b> ・美咲町社協平成29年度事業報告について ・美咲町社協平成29年度一般会計収支決算について ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協定時評議員会の開催日時及び議題について <b>【報告】</b> 美咲町社協の会長、常務理事の職務執行状況について</p>
<p>○第2回 30年7月20日 (理事10名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【議案】</b> ・美咲町社協「評議員選任候補者の推薦」について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会の開催日時について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会委員の一部選任替えについて</p>
<p>○第3回 30年8月22日 (理事10名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【議案】</b> ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について ・第7回美咲町社会福祉大会について ・社会福祉大会における表彰者について ・美咲町社協9月度評議員会開催日時及び議案等について <b>【その他】</b> 平成30年度岡山県総合福祉大会について</p>

<p>○第4回 30年10月19日 (理事11名、監事1名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【協議】</b> ・美咲町社協の事業運営について ○地域福祉事業について ○介護保険事業について</p>
<p>○第5回 30年11月28日 (理事10名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【議案】</b> ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算 について ・美咲町社協福祉バス貸出事業規程の改正につ いて ・美咲町社協12月度評議員会開催日時及び議案 について <b>【報告】</b> ・美咲町社協の会長、常務理事の職務執行状況 について ・美咲町社協平成30年度中間監査結果報告につ いて ・美咲町社協第2期地域福祉活動計画について</p>
<p>○第6回 31年1月25日 (理事9名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【議案】</b> ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算 について ・美咲町社協資金積立金管理規程制定について ・美咲町社協「資金の積立て」及び平成30年度一 般会計収支補正予算について ・美咲町社協2月度評議員会開催日時及び議案 について</p>
<p>○第7回 31年3月6日 (理事10名、監事2名 出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p><b>【議案】</b> ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予 算について ・美咲町社協平成31年度事業計画について ・美咲町社協平成31年度一般会計収支予算につ いて ・美咲町社協第5回評議員会の開催日時及び議 題について</p>

(2) 評議員会

開催日	場 所	主要付議事項
<p>○定時評議員会 30年6月29日 (評議員9名 理事3名, 監事1名出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【会長の専決事項の報告】 i)平成29年度一般会計収支補正予算について 【議案】 ・美咲町社協平成29年度事業報告について ・美咲町社協平成29年度一般会計収支決算について ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について</p>
<p>○第2回 30年9月12日 (評議員13名 理事3名, 監事2名出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】 ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について 【報告】 ・美咲町社協の事業概要並びに事業運営について ・第7回 美咲町社会福祉大会について</p>
<p>○第3回 30年12月7日 (評議員12名, 理事3名、監事2名出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】 ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について 【報告】 ・美咲町社協平成30年度中間監査結果報告について ・美咲町社協第2期地域福祉活動計画について ・美咲町社協福祉バス貸出事業の見直しについて</p>
<p>○第4回 31年2月8日 (評議員12名, 理事3名, 監事2名出席)</p>	<p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p>	<p>【議案】 ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について 【報告】 ・美咲町社協第2期地域福祉活動計画について</p>

○第5回 31年3月22日 (評議員12名, 理事 2名, 監事2名出席)	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議案】 ・美咲町社協平成30年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協平成31年度事業計画について ・美咲町社協平成31年度一般会計収支予算について
--	---------------------	--

### (3) 監査

開催日	場所	主要付議事項
29年度 監査 30年5月30日 (監事2名、常務理事、 事務局職員出席)	中央ふれあいセンター 2階会議室	・平成29年度事業報告書の審査 ・平成29年度資金収支計算書の審査 ・平成29年度貸借対照表の審査 ・平成29年度財産目録の審査 ・その他
30年度中間監査 30年11月9日 (監事2名、常務理事、 事務局職員出席)	中央ふれあいセンター 2階会議室	・4月期～9月上半期の法人運営状況、地域福祉事業、介護保険事業等の業務執行状況について、予算の執行状況について監査を実施

### (4) 評議員選任・解任委員会

開催日	場所	主要付議事項
30年8月8日 (選任・解任委員5名、 会長、事務局職員1名 出席)	中央ふれあいセンター 2階会議室	【委嘱状交付】 選任された外部委員1名に委嘱状交付 【議案】 ・評議員の選任について

## Ⅱ. 地域福祉事業

### (1) 地域福祉活動の推進

#### 1. 小地域ケア会議、小地域福祉活動の促進

日常生活圏のなかでの見守り・声かけ活動、地域での福祉活動をとおして発見された生活課題や困りごとについて話しあい、解決策を見出すための仕組みづくりの促進・充実、さらに解決に向けての活動が進められるように地域住民と美咲町、包括支援センター、介護保険事業所との連携に努めました。

#### ■小地域ケア会議開催状況

開催単位：自治会単位 72.8%開催

中央地区（24自治会）	柵原地区（42自治会）	旭地区（15自治会）
18自治会	26自治会	15自治会
69回開催	68回開催	58回開催

構成団体：自治会長、民生委員、常会長、老人クラブ、愛育委員、栄養委員、ボランティア、サポーター、サロン代表者、地域包括支援センター職員、社協職員等

小地域ケア会議開催が難しい自治会においては、サロン活動、コロバン体操、サポーター会合等に参加し情報共有・連携の強化に努めました。また、民児協柵原支部については地区会（北和気地区・南和気地区・本庁地区・飯岡地区）に参加し情報共有、連携の強化に努めました。（開催回数に含む）民児協の中央・旭・柵原の3支部の定例会にも参加にしました。（開催回数に含まない）

#### ■小地域福祉活動報告会開催（※ふれあいサロン合同研修会と同日開催）

地域で取り組まれている活動報告の場を設け、活動の重要性の再確認や情報共有・活動の活性につなげることを目的に「小地域福祉活動報告会」を実施しました。

開催日：平成31年2月15日 13:30～16:00

場 所：柵原総合文化センター

内 容：①小地域ケア会議の取り組み ②サロン活動の取り組み ③ワンデイカフェの取り組み ④通いの場の取り組み等、

地域で取り組まれている活動の実践報告会

報告地区：中央地区打穴西・旭地区上口・柵原地区周佐

講 演 『小地域ケア会議の機能・必要性～地域共生社会の実現に向けて～』

講 師：美作大学 小坂田稔教授

参加者：自治会、ふれあいサロン代表者等約230名（他に行政職員・社協職員等）



## ■小地域福祉活動推進強化事業

地域の課題やニーズを踏まえ誰もが地域で安心して暮らせる地域福祉活動に取り組んでいる自治会等を対象に活動助成を行いました。

申請方式：1自治会×30,000円（申請数：53自治会）

中央地区（24自治会）	柵原地区（42自治会）	旭地区（15自治会）
13自治会	27自治会	13自治会
【活動内容】 小地域ケア会議10件、見守り活動1件、地域ボランティア活動2件、ふれあいサロン活動10件 その他2件	【活動内容】 小地域ケア会議14件、見守り活動9件、地域ボランティア活動8件、ふれあいサロン活動19件 その他6件	【活動内容】 小地域ケア会議12件、見守り活動3件、地域ボランティア活動2件、ふれあいサロン活動9件 その他1件

## 2. 小地域福祉活動の支援

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、地域で暮らす誰もが身近な場所で、気軽に集い、語り、ふれあい交流のできる居場所づくりや生きがいづくりを支援し、これらの機会をとおして、見守り・声掛けの意識の醸成にも努め、お互いに助け、助けられる関係づくりにも努めました。

### ① ふれあいサロン活動

ふれあいサロン活動の役割について、活動をとおして支援し研修会等でも活動の必要性・継続性を促し、併せて新しい活動メニューを提案し、活動の充実・活性化が図られるよう支援に努めました。

### ○ふれあいサロンの活動状況

地区名		サロン数	延べ参加者数
中央 (52)	加美地区	20	2,461人
	三保地区	13	2,079人
	打穴地区	10	726人
	大井和地区	8	838人
	男性サロン	1	59人
柵原 (42)	北和気地区	10	1,733人
	吉岡地区	11	1,632人
	南和気地区	9	1,282人
	本庁地区	8	3,240人
	飯岡地区	4	791人
	倭文西地区	4	570人
	西川地区	6	1,292人



旭 (22)	埴和地区	7	1,290人
	江与味地区	4	764人
	生活支援サロン	1	394人
子育てサロン		1	556人
障害児者支援サロン		1	180人
笑いのサロン和(難病)		1	180人

### ○ふれあいサロン代表者研修会の開催

サロンを運営している代表の方を対象に、活動の情報交換・課題解決に向けた情報提供を目的として開催しました。

#### 【各地区代表者研修】

実施日	地区	参加者	内 容
6月5日	旭	25名	「地域に応じた学校と地域のつながりづくり～旭小学校の教育から～」 講師：旭小学校 校長 光嶋昭善 氏
6月6日	中央	60名	「中央中学校の紹介～コミュニティスクールとして地域とともに歩む学校づくり～」 講師：中央中学校 校長 竹内由明 氏
6月21日	柵原	80名	総会 研修会「地域に応じた学校と地域のつながりづくり」 講師：柵原中学校 校長 西本憲弘 氏

#### 【合同研修会】

平成31年2月15日に、小地域福祉活動報告会と同日開催

### ② 居場所づくり応援プログラム「ワンデイカフェ」開設支援

空き家や空き店舗、個人宅、コミュニティ等を活用して、ワンデイカフェのオーナー・マスター（運営ボランティア）を募って4年目、町内に4ヶ所の固定のワンデイカフェが継続開設され、開設にあたっての相談・助言等を行い、気軽に集える場・悩みが相談できる場・役割が持てる居場所づくりができるよう活動支援を行いました。また、新規で1か所の開設することができた。

#### ○ワンデイカフェ開店状況

地 区	団 体	場 所	頻 度	備 考
中央	にこにこカフェ	打穴西公会堂等	毎月1回	カフェによって規模・内容は様々で、人数も10人未満～50人程度と幅がある。おしゃべり、喫茶、体操、手芸、各種ミニ講座等。
柵原	楽楽カフェ	公会堂・空き家	毎月1回	
	みいちゃんの家	空き家	常時／定例日 毎月1回	
旭	えよみ友楽館	空き家・空き店舗	毎週1回（月曜日）	
	如風の会	空き家	毎月1回	






### 3. 障がい者支援事業

#### ○障がい者アート～わたしの世界～in みさき

芸術活動をとおして、障がいのある方が主体となり地域で活動していける「場」と地域住民と交流できる「場」を創出し、障がいのある方が生きがいのある生活と自立した社会参加を行えるよう事業を実施しました。

また、自分たちの作品を町内外で巡回展示会を開催し、日頃の活動意欲の向上にも繋げる支援を行いました。

日 時	6月24日 10:00～15:30	10月13日 10:00～12:00
場 所	中央ふれあいセンター	柵原総合文化センター
参加者	町内の障がいのある方（地域の方にボランティアとして呼びかけた）40名	町内の障がいのある方（地域の方にボランティアとして呼びかけた）30名
内 容	<p>臨床美術教室            午前：鉢植えアート            午後：揺れる熱帯魚            講師：美作クリニカルアート</p> 	<p>桜湖焼お茶碗づくり            講師：杉山 典子先生            （美咲町三休公園陶芸教室）</p> 
障がい者アート展 5月～2月	<p>本人の主張大会（旧打穴小学校体育館）            キャンドルナイト in 旭            （みち停あさひ）            美咲町社会福祉大会            （旭町民センター）            アルネ津山・亀甲郵便局            柵原文化祭（柵原総合文化センター）            北和気郷土資料館 等</p> 	

#### ○障がいのある方が学べる大学～みしゃモンカレッジ～

障がいのある方やその家族だけでなく地域住民、障がい者福祉施設、行政と連携し、障がいのある方々に多くの夢をもってもらい、地域で活動していける「場」と、生き活きとした生活を過ごすことを目的に、地域で「学べる場」「体験できる場」として3回シリーズでみしゃモンカレッジを開講しました。（平成29年度1期生6名・平成30年度2期生6名）

日時	12月1日 10:00~14:00	1月20日 10:00~13:00	2月3日 10:00~15:00
場所	南和気荘	津山消防署	旭町民センター
参加者	合計20名 受講生8名・校長1名 あいサポーター11名	合計18名 受講生6名・校長1名 あいサポーター11名	合計150名 受講生11名・校長1名 あいサポーター15名 一般参加123名
内 容			
【1日目】	<p>●委嘱状交付式 ●2期生入学式</p> <p>体験：パン職人になろう！</p> <p>学び：美味しいパンの作り方</p> <p>講師：学校のパン屋さん 寒竹とよこ先生、下山宏子先生</p>		
【2日目】	<p>体験：1日消防士体験</p> <p>学び：自分でできる防災</p> <p>地震の疑似体験や火災における煙体験</p> <p>講師：津山圏域消防組合 河副圭先生、田淵良徳先生</p>		
【3日目】	<p>体験：1日ホール体験スタッフ～地域の方をおもてなし～</p> <p>一杯100円でうどんを販売</p> <p>学び：お客様をもてなす接客マナー</p> <p>講師：うどん打ち友清老人クラブ14名</p> <p>キャスト：みしゃモンカレッジ受講生11名</p> <p>●アトラクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上口楽笑会によるスコップ三味線</li> <li>・みしゃモンカレッジ受講生歌とダンス等</li> </ul> <p>●2期生卒業式 ●1期生修了式</p>		

### ○障がい者支援「笑顔のお届け便」

多くの住民に「赤い羽根共同募金」を啓発するために、赤い羽根商品を障がい者福祉施設・団体に作成してもらい、地域で行われる行事等で募金活動を行い、障がい者福祉の向上及び住民同士の支えあい活動を地域全体で促進するとともに、障がい者施設・団体の啓発に努めました。また、障がいのある方と地域住民が触れ合う場として「笑顔のお届け便出店」を行いました。

●各障がい者福祉施設や作業所等が提供する商品を、地域住民が購入することで、一定の割合が赤い羽根共同募金となりました。また、みしゃモンシール(1シート100円)を商品に貼り、募金活動の啓発と募金額の向上に努めました。

参加事業所・団体	商品	実施場所
久米福祉会 さくらの実 さつきの丘 はなまるハウス メンタル柵原 つつじ会 レインボータートル 誕生寺支援学校	クッキー・ラスク・アニ マルクッキー・さをり 織・ドライ柿・ドライ芋・ 香り袋・手作りはがき手 作りストラップ 等	ふれあいサロン・小地域ケア会議・ 各研修会・美咲町社会福祉大会 等 <b>【お届け便出店】</b> 日時：10月31日～11月2日 時間：11：00～13：00 場所：美咲町役場第二分庁舎 共催：美咲町障がい者ネットワーク

### ○当事者団体の活動支援

障害児者、介護者家族等の当事者組織団体の活動支援、連携を図っていくことを目的に、活動支援に取り組み、在宅介護者・障害児者本人の社会参加の場、勉強できる場、精神的ゆとりを生み出す機会づくり等の支援に努めました。

#### 【活動支援状況】

	小委員会	活動内容	参加事業
障害者本人の会 レインボータートル	4月22日	5月27日 ものづくり 立体カボチャづくり 9月9日 イオン岡山 美作大学ボランティア参加 12月2日 クリスマス会 西苫田公民館 3月10日 カラオケ大会 ユーズカラオケ	5月～2月 障がい者アート展 ～わたしの世界～inみさき 6月24日 臨床美術教室 鉢植えアート・揺れる熱帯魚 9月23日キャンドルナイト IN 旭 10月13日 桜湖焼お茶碗づくり 12月～2月 みしゃモンカレッジ
美咲町介護者の会	開催日：毎月第1木曜日開催 会 場：中央公民館・柵原文化センター・南和気荘・旭町民センター （会員相互の協力のもと、会を継続的に運営している。）		

## 4. ボランティア活動の推進

住民のボランティア活動への参加促進を図り、地域課題に対して「何か自分にできることはないか」という住民の気持ちをかたちにできるきっかけづくりとして、人材育成のためのボランティア養成講座、ボランティア活動の情報提供、ボランティアコーディネート、ボランティア保険加入等の推進に努めました。

### ① 災害ボランティア養成講座

災害が発生した地域へ「災害ボランティア」として活動に向かうことは浸透している一方で、「災害ボランティア＝力仕事」といったイメージを抱く人も多

く、「被災者支援」「暮らしの支援」という視点が見えにくくなっている課題から、災害時と平常時を切り分けて考えず、日常の延長にある災害時のボランティア活動についての学習と、被災した住民や地域が主体的にふだんの暮らしを取り戻していくために、被災した住民と被災者支援（ボランティア）活動者とを結び、安心して暮らせる地域へ近づけていく役割をもつ「災害ボランティアセンター」の設置演習を実施しました。

○講義・演習

1月13日 10:00～16:00

講義「ふだんの暮らしと災害について考える～暮らしをつなぐ災害ボランティア活動と福祉避難所の役割～」

講師：日野ボランティア・ネットワーク森本智喜氏



○災害ボランティアセンター設置訓練・講義

2月24日 9:30～16:00

講師：日野ボランティア・ネットワーク森本智喜氏

大田市社会福祉協議会 島田奨馬氏

講義：「島根県西部地震がつかないもの」

訓練：「災害時を想定し、被災者役・ボランティア役・ボランティアセンタースタッフ役に分かれて、災害ボランティアセンターでのロールプレイ」

参加者数：250名(2日間合計人数) ※美咲町災害ボランティア登録者72名  
(住民・近隣市町村住民・NPO・県社協職員・他市町村社協職員・  
県災害救援専門ボランティア・大学生ボランティア・美咲警察署・  
役場職員・社協役職員等)

②災害ボランティアバスの運行

平成30年7月西日本豪雨災害により甚大な被害を受けた地域住民の生活基盤（住家）の応急復旧のお手伝いとして災害ボランティアバスの運行を実施しました。

【第1回】

日時：9月13日 7:00～17:00

場所：倉敷市

参加者：24名（美咲町災害ボランティア登録者・  
消防組合職員・美咲町職員等・社協職員）

【第2回】

日時：10月20日 7:00～17:00

場所：倉敷市

参加者：37名（美咲町災害ボランティア登録者・消防組合職員・学生ボランティア・  
社協職員・美咲町職員等）





③ ボランティア活動のコーディネート状況

登録者数	活動件数/活動者数
113名	福祉教育ボランティア1件/10名 施設ボランティア2件(7月～継続中)/2名 災害ボランティア活動2件/4名(7/20・8/2)

④ ボランティア保険加入状況

種別	加入団体数	加入者数
ボランティア活動保険	120団体	1,389人
ボランティア行事用保険	7団体	1,179人
福祉サービス総合補償	1団体	延べ 478人

⑤ 夏のボランティア体験事業

主に町内の中高生を対象とした夏休み期間を利用したボランティア体験事業であり、福祉を中心として様々なボランティアを体験する機会となり、改めて福祉とは何か？ボランティアとは？など事前研修でしっかりと学べる機会に努めました。

参加中高校学校名	夏ボラ受入施設・機関名
中央中学校(37人) 美作高校(5人) 柵原中学校(41人) 津山商業高校(10人) 旭中学校(27人) 津山高校(1人) 久米中学校(2人) 津山東高校(5人) 津山高専(1人) 林野高校(2人) 合計:10校(参加者131人)	白寿荘、静香園、中央かめっこ保育園、中央児童館、美咲町社会福祉協議会(ふれあいセンター・福祉の里あさひが丘・特別養護老人ホームあさひが丘) 旭保育園、旭児童館、柵原西保育園、柵原東保育園、エリシウム柵原、さやかなる苑(活動先:13ヶ所、受け入れ可能施設24)



5. 福祉教育の推進

人を思いやり、お互いに支えあい・助け合う心を育み、自分と違う立場の人を

認め、人の気持ちに共感できる力や自分の考えを表現する力、考えを共有し実行していく力＝「共に生きる力」をつけていく意識の醸成に努めました。

○小・中学校福祉教育(※美咲町健康推進課・地域包括支援センター協働)

実施日	実施学校	対 象	内 容
7月 9日	旭小学校	6年生	「高齢者社会を共に生きる」
10月 9日			① 高齢者疑似体験
11月 29日			② 認知症サポーター養成講座
12月 14日			③ 介助体験 ④ 介護食体験

## 6. 子育て支援事業

医療や生活上の公的な子育て支援の充実が美咲町でも進められている一方、家族構造の変化や地域社会の機能の脆弱化や希薄化の進行により、子育ての不安を気軽に尋ねたり相談できる相手が身近にいないこと、同じ境遇にある人と過ごせる場所がない、場所があってもそこへ入っていけず孤立につながるなど、公的な社会資源だけでは解決できない様々な課題があり、子育て支援に取り組む各種団体とともに「ほっと・るーむ運営委員会」にて、「みさきおやこひろば『ほっと・るーむ』」を実施し、学生ボランティアとの連携にも努めました。

6月 2日	旭図書館	子ども11名 大人5名
7月 28日	中央公民館	子ども5名 大人2名 チームみさき4名
8月 31日	柵原総合文化センター	子ども15名、大人13名 チームみさき3名 美作大学学生ボランティア7人
10月 6日	旭図書館	子ども6名 大人2名
11月 17日	旭町民センター	子どもまつり共催

運営委員会：美咲町青少年育成活動連絡会・NPO 法人ファミリーリングあゆむ・美咲町社協・美咲町共同募金会

## 7. 社会福祉大会の開催

社協の活動理念のもと子どもから高齢者・障害者等、誰もが生き活きと暮らすことができる共生の地域づくりに努め、社会福祉の向上にご尽力された方を顕彰し感謝の意を表すため、「第7回美咲町社会福祉大会」を開催しました。

日 時：平成30年10月7日（日） 13：00 ～ 15：30

場 所：旭町民センター

式 典：美咲町社会福祉協議会会長表彰【社会福祉協議会会長表彰】 1団体  
【社会福祉事業団体功労者】 1団体  
【社会福祉協議会会長（感謝）】 7名

美咲町共同募金委員会会長表彰 【赤い羽根共同募金手作り募金箱受賞】

10名 3団体

\*応募総数 18名 8団体

講演『注文をまちがえる料理店  
～世界に広がってへべろの輪～』

講師：小国 士朗 氏

来場者数：150名



## 8. 共同募金事業の推進

美咲町共同募金委員会が行う共同募金運動及び配分助成事業を計画に沿って行うなか、戸別募金の減少傾向に歯止めをかけ、募金活動を活性化するために、各種事業を展開しました。また、地域福祉の推進を目的とする共同募金に住民の理解が得られるよう、募金手法や配分助成事業の公募・助成審査・決定に関する情報の開示、集められた募金の使途の明確化等、各種事業の機会を活用して住民と顔を合わせながら伝えるよう努めました。

### ①美咲町共同募金委員会運営委員会および審査委員会

	開催日時	協議内容
監査	5月30日	・平成29年度共同募金事業報告・決算、監査
交付式	6月8日	・平成30年度赤い羽根共同募金助成交付式
第1回 運営委員会	6月8日	・平成29年度共同募金事業報告・決算、監査について
第2回 運営委員会	8月22日	・平成30年度赤い羽根共同募金運動の推進について 赤い羽根共同募金運動の展開について 赤い羽根共同募金運動の事務処理について 美咲町共同募金助成公募（平成31年度分）について
審査委員会	2月21日	・平成31年度赤い羽根共同募金助成事業助成審査について
第3回 営委員会	3月6日	・平成31年度 赤い羽根共同募金助成事業助成審査結果について ・平成31年度赤い羽根共同募金事業計画について

### ② 赤い羽根共同募金 募金運動について

10月1日から12月31日を運動期間として、各種募金運動を展開しました。



### 一般募金の実績

募金種別	金 額
戸別募金	1,649,735円
職域募金	203,480円
企業募金	281,756円
その他募金	354,279円
計	2,489,250円

### 歳末たすけあい募金の実績

募金種別	金 額
戸別募金	1,506,501円

### 実施体制

募金運動	主な募金方法、募金ボランティア
募金運動期間 10月1日～12月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸別募金（常会長、連絡協力員による。世帯を対象）</li> <li>・職域募金（職員を対象）</li> <li>・企業募金（企業を対象）</li> <li>・イベント募金（各種イベントによる）</li> <li>・その他募金（募金箱、笑顔のお届け便、募金グッズ等）</li> </ul>

### ③共同募金の活性化について

#### ○手づくり募金箱大募集！！～しょうらいのじぶんたちへの募金箱～

共同募金の寄付金額が減少傾向にあるなか、町民に「見える共同募金」とするため、手づくり募金箱の募集を行い、応募のあった募金箱を共同募金委員会において選考し、美咲町社会福祉大会にて表彰しました。また、応募募金箱は10月から始まる共同募金運動にて各種の機会（イベント、法人、職域等）にて活用し、寄付者には「手づくり」という視点や、応募する側には、子どもたちやその保護者に共同募金への関心を持ってもらいやすい啓発に努めました。

（応募募金箱33点 手作り募金箱への募金額21,474円）

#### ○親子で楽しむ映画会

親子で同じ映画を一緒に見て楽しみながら親子のふれ合いの大切さを改めて感じてもらい、また幅広い世代に「赤い羽根共同募金」に関心をもってもらう機会として、「みんなで楽しむ映画会」を上映しました。

#### 「みんなで楽しむ映画上映会」

～ムーミン谷とウィンターワンダーランド～

上映日：平成30年12月23日

上映場所：中央公民館

来場者数：60人



## 9. 社協会員の加入促進

社協の地域福祉事業活動の推進の財源として活用し充実に努めました。

普通会員			特別会員			ふるさと会員		
件数	金額(円)	口数	件数	金額(円)	口数	件数	金額(円)	口数
341	440,000	440	73	282,000	94	3	9,000	3
合計 731,000円								

### (2) 生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

#### 1. 通いの場について

##### ①週1回開催地区に対する支援（SC：生活支援コーディネーター）

地区	開催場所	開催曜日	SC参加回数
旭	江与味ふれあい会館	金曜日 10:00～	7
	江与味友楽館	月曜日 10:00～15:00	5
	江与味畝滝の畝公民館	土曜日 18:00～	10
	南公民館	土曜日 9:00～	10
	上口公民館	土曜日 9:00～	11
	栃原揚名会館	水曜日・土曜日 10:00～	13
	西埜和公民館	火曜日 13:30～	10
	西川コミュニティセンター	月曜日 10:00～	13
中央	錦織ふれあい会館	月・火曜日、第3木曜日 10:00～	14
	大埜和老人憩いの家	金曜日 13:30～	21
	打穴上公会堂	火曜日 13:30～	7
	打穴西公会堂	パック式第1金曜日 第2・4月月曜日第3土曜日	0
柵原	塚角コミュニティハウス	火曜日 9:30～	13
	久木コミュニティハウス	金曜日 9:30～	3
	高下コミュニティハウス	水曜日 10:00～	18

#### 〈支援内容〉

- ・月に1回程度巡回し、参加者の生活状況・ニーズ把握
- ・通いの場の運営についての相談、アドバイス支援
- ・協議会への支援

②新規開催地区に対する支援

(SC：生活支援コーディネーター)

地区	開催場所	開催日	備考
旭	埴和地区 (中埴和・東埴和・栃原)	4月4日開催 登録者数 21名 利用要支援者 2名 平均利用者数平均 11名	定期開催 毎週水曜日 9時～10時
中央	打穴北地区・ (定国・秋政・大谷)	自主的に 4月4日開催 登録者数 18名 利用要支援者 0名 平均利用者数平均 5名	毎週水曜日 10時～ 3ヶ所パック型で開催
柵原	飯岡地区 (飯岡上下・高下・王子) 飯岡 JA 跡地	4月5日 JA 津山柵原 支所長との協議会開催 4月27日開催 登録者数 59名 利用要支援 2名 平均利用者数 21名	毎週金曜日 10時～ SC参加回数 33回

③月1回～2回健康体操等活動している地区に対する支援

地区	開催場所	開催曜日	備考	SC参加回数
旭	江与味大山ほたる会館	第3土曜日	1回/月開催	6
中央	打穴中老人憩いの家	第4水曜日	1回/月開催	9
柵原	羽仁公会堂	第3土曜日	2回/月開催	5

〈支援内容〉

- ・協議会の立ち上げ支援
- ・開催頻度ができるだけ週1回になるよう支援者と協議
- ・定期開催に向けての課題の抽出と課題解決に向けた支援
- ・通いの場の運営についてのアドバイス

④モデル地区に対する支援

地区	開催場所	開催日	備考
旭	小山	3月24日総会 通いの場開催について検討会議 平成31年4月14日 通いの場試行的に開催予定 自治会の協力でチラシ全戸配布	41世帯 79人 8名参加 毎週土曜日 14時～ 定期開催に決定

柵原	吉ヶ原 みーちゃんの家 南和気	平成31年1月10日「通いの場」 事業の説明 平成31年3月28日「通いの場」 試行的に開催 平成31年度 4月25日「通いの場」 本格的に稼働	毎週木曜日 10時～  定期開催に決定 今後、オレンジカフェ等の開催予定
	南和気コミュニティセンター	11月15日10時～ 自治会役員打合せ会議 12月8日17時～ 「通いの場」立ち上げ検討会議 1月19日試行的開催にむけ協議 2月14日試行的開催 自治会の協力でチラシ全戸配布	毎週木曜日 10時～ 定期開催に決定
中央	原田	3月18日立ち上げ相談（末澤三和子氏自主的開催希望）	開催場所の検討中
	新城コミュニティハウス	4月～通いの場紹介継続中	朝談に依頼検討中

〈支援内容〉

- ・ 定期開催に向け、協議会設置の協議の実施
- ・ 開催頻度ができるだけ週1回になるよう課題の抽出と課題解決に向けた支援を協力者、世話役と協議
- ・ 通いの場の運営についてのアドバイス
- ・ 移動手段の黄福タクシー利用についての説明

⑤ まだ取り組んでいない地区への支援

- ・ 小地域ケア会議などの場を活用し社協職員と連携し地域のニーズの把握
- ・ サポートふくしの連携
- ・ 小地域ケア会議の参加状況

地区	旭	中央	柵原
地区数	15地区	24地区	42地区
会議開催地区	15地区	21地区	24地区
会議延べ回数	12回	11回	19回
内容	地域の問題、課題 見守り情報交換 新事業の啓発 参加団体情報共有	地域の問題、課題 見守り情報交換 新事業の啓発 参加団体情報共有	地域の問題、課題 見守り情報交換 新事業の啓発 参加団体情報共有

1-2. 事業広報及び視察啓発研修について

○交流会

生活支援コーディネーター交流会	5月30日13時～保健センター 矢掛地区社会福祉協議会、矢掛社協職員 10名
岡山県地域交流フォーラム	9月27日13時～ 参加人数：一般10人
美咲町通いの場視察研修	12月6日 江与味地区視察 鏡野香北地区20名
美咲流通いの場情報交換会	3月18日10時～ 林業センター 講師：千田節子氏 参加人数：102名

○啓発

事業紹介のブックレットの作成 (1,000部)	各通いの場協議会、各介護保険事業所、自治会役員、民生委員等に配布 未開催地域への周知として各支所に設置
----------------------------	--

1-3. 通いの場協議会・サポートふくしの運営・支援及び関係者会議出席

合同会合の開催、各協議会の情報交換の場を設け、協議会総会に出席、またサポーター会議等にも出席し、地域の課題や事業の課題等の相談・支援に努めました。

1-4. 介護教室の開催

地域の介護力の向上と生活支援を担う人材育成を目的に介護教室を開催しました。(全4回開催)

1-5. 事業の広報と各種団体との情報交換

- ① サロン代表者研修会(200名)3地区に参加
- ② 大井和地区角石祖母老人クラブ、井和地区上口老人クラブ総会
- ③ 南和気(柵原)民生委員部会参加し南和気地区全体での通いの場開催に向けての意見交換会(2回)
- ④ 北和気(柵原)民生委員部会に参加北和気地区での通いの場開催について再度開催に向けて検討会を開催(1回)
- ⑤ 柵原藤原地区ボランティアグループの立ち上げ会議に参加(1回)

2. 生活支援サポートサポートふく・く・しについて

○生活支援サポーター数

登録者数	224名	中央	92名	柵原	74名	旭	58名
------	------	----	-----	----	-----	---	-----

○活動回数・頻度

① 契約訪問について（依頼件数、活動内容、回数表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
中央	1時間以上		2	1	1	2		1				1	1	9	
	30分以上		1	1									1	4	
	30分未満		2	2	2		3	4	2	3	2	2	2	26	
藤原	1時間以上													0	
	30分以上													0	
	30分未満							46	63	84	68	63	52	54	430
旭	1時間以上											1		1	
	30分以上													0	
	30分未満													0	
月合計		5	4	3	2	3	51	65	87	70	67	56	57	479	
内容	ゴミ		2	2	2		3	4	2	3	2	2	2	26	
	外出		2	1	1	2		1				1	1	19	
	掃除													0	
	買い物													0	
	調理													0	
	片づけ・整理			1								1	1	3	
	配食							46	63	84	68	63	52	54	430
	その他		1												1

○配食ボランティア

障がい者支援施設「さやかなる苑」が以前より行っていた配食事業の配達を、ボランティアに依頼できないか相談があり生活支援サポーターを中心に配食ボランティアを募り配食をとおして安否確認に努めました。

配食ボランティア数	11名(吉岡地区サポーター及び配食見守りボランティア登録者)
食数	1日5食まで(夕食のみ)
配食範囲	さやかなる苑より15分圏内(吉岡地区、藤田中まで)
配食可能日	月曜～金曜日
自己負担(弁当料)	400円(配食利用者が負担、さやかなる苑が直接集金)
サポーターへの報酬	サポートふ・く・しのポイント制を利用 財源は町の配食事業を活用し1件あたり500円 100円はさやかなる苑の事務費、400円はポイントでサポーターへ社協から渡している。
実績数	9月10日～3月29日まで 430回





- 配食サービス及び買い物サロンについての検討会の開催
- ①「さやかなる苑」と配食ボランティアとの協議及び情報交換会  
 さやかなる苑との協議（H30年2月26日）～開始までの協議2回  
 配食関係者との定例会議開催（13回）配食該当者6名との調整
- ②スーパーひとみと実施に向けた打ち合わせ会議（2回）
- ③南和気通いの場モデル開催日、買い物サロンを開催

○買い物サロン及び通いの場買い物支援実施数

	旭地区	中央地区	柵原地区
開催場所	西埴和公民館 (通いの場) 栃原揚名会館 (通いの場) 南公民館(サロン) 小山Gゴルフ場 (サロン)	打穴下 コミュニティハウ ス(サロン)	飯岡JA農協跡 (通いの場) 南和気Cセンター (通いの場) 藤原平成会館 (サロン)
実施回数	86回		43回
商工会	大崎商店		スーパーひとみ

○サポーター会合

	打穴西地区	加美(原田)地区
開催回数	4回 45人	開催回数 4回(内2回は原田地区)
参加人数	地区の活動状況につ	参加延人数 26人
内容	いて、気になる方の見 守り情報交換	内容 各地区の気になる方の 見守り 情報交換

○新規生活支援サポーター養成研修(短期集中講座)

<b>【日程】</b>	生活支援サポーターについて
前期講座	あなたの笑顔☆キラリ 老イノミクス
7月14日	講師：日本赤十字社 井上美咲子 先生
8月4日	聞き上手・話し上手の秘訣
	講師：ケースワーカー 和泉 富美子 先生
後期講座	美咲町の介護保険について
11月10日	講師：保険年金課課長 鈴鹿 滋 氏
11月17日	認知症について
	講師：認知症キャラバンメイト
	見守りについて





高齢者疑似体験 社協地域福祉活動専門員	
前期講座修了人数 18名	後期講座修了人数 4名

○登録者数

短期集中講座終了 登録者	美咲町介護教室6回 以上受講登録者	新規登録総数 (養成研修含む)
22名	4名(新規)	26名

### (3) 権利擁護・生活推進事業

美咲町権利擁護センターが開設して4年目の平成30年度は、従来の地域福祉事業に加え、美咲町地域包括支援センター事業、生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者家計相談支援事業との連携のなかで、あらゆる世代への総合相談と層の厚い支援に努めました。特に、障害や病気のみならず、就労できない、他人との交流が苦手など生きづらさを抱えた世帯への支援を福祉、司法関係の機関や地域との連携のなかで検討することができるしくみに努めました。

#### 1. 美咲町権利擁護センター事業(受託事業)

- ① 運委員会開催 4月27日(金) 13:30~14:30
- ② 支援検討委員会開催 5回開催 偶数月第2火曜日 15:00~16:30  
支援検討件数 7件  
内 成年後見制度利用へ 1件  
日常生活自立支援事業利用へ 0件

#### ③ 年間相談件数

分類	電話相談	来所相談	訪問	支援会議	同行支援
認知症等高齢者	315	57	255	14	12
知的障がい者等	252	68	87	16	3
精神障がい者等	290	32	128	3	1
その他	29	3	8	3	1
合計	886	160	478	36	17

(内新規相談 18件 問合せ 11件)

## 2. 権利擁護講座（町民後見人・生活支援員合同研修会）

月 日	内 容	講 師	参加人数
5月15日	「後見業務の事例より」	パブリック法律事務所 弁護士 河内紀篤 氏	19人
7月17日	「成年後見等における 本人の財産処分」	パブリック法律事務所 弁護士 河内 紀篤 氏	16人
9月18日	「複数後見等の職務分担の 在り方」	パブリック法律事務所 弁護士 河内 紀篤 氏	15人
11月20日	「年金制度の基礎知識」	社会福祉士・社会保険 労務士 工藤 真弓 氏	13人
1月15日	「相続について」	パブリック法律事務所 弁護士 河内 紀篤 氏	12人
3月19日	「遺言・遺産分割について」	パブリック法律事務所 弁護士 河内 紀篤 氏	14人

## 3. 日常生活自立支援事業・成年後見制度意見交換会

権利擁護に関する情報交換、事例検討等を行いました。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者数	15人	19人	12人	16人	12人	15人	12人	13人	12人	12人	11人	14人

### 3-1 日常生活自立支援事業の促進

福祉サービスに関する情報提供、助言、手続きの援助、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行い、自立した日常生活が送れるよう支援をしました。

また、緊急的な入院や福祉サービス利用内容の変更等に対応するため、他機関との連携と生活支援員への報告・連絡体制の充実に努めました。

利用状況

(単位：人)

	認知症	知的 障害者等	精神 障害者等	合 計	内生活保護受給者
平成30年度 新規契約者			1	1	
※解 約	1		1	1	
合計利用者	6	6	5	17	4

(生活支援員 登録者数 8人 )

#### 4. 法人後見事業（1件）

後見類型 精神科病院へ入院中の男性（66歳）が、安心して生活、療養できるように支援を行いました。

4月5日確定、3月27日死亡により終了

#### 5. 金銭管理・財産保全サービス(2件)

判断能力に関わらず、金銭管理及び書類等の保管が適切に行うことが困難であると認められるものと契約し、当事者が自ら行えるように支援を行いました。

#### 6. ふくしの相談会の実施

県北の権利擁護のネットワークの連携を強化することを目的に、津山市・鏡野町・久米南町と美咲町の4つの社会福祉協議会が共同で開催し、より身近な専門職による相談の機会の提供とワンストップの相談支援に努めました。

第10回	平成30年5月28日	13:30~16:00
会場	美咲町中央保健センター	
相談件数	8件（内美咲町分5件）	
相談員等スタッフ	27名	
第11回	平成30年9月28日	13:30~15:30
会場	鏡野町中央公民館	
相談件数	10件（内美咲町分2件）	
相談員等スタッフ	27名	
第12回	平成30年12月4日	13:30~16:00
会場	津山市総合福祉会館	
相談件数	10件（内美咲町分2件）	
相談員等スタッフ	35名	

#### 7. 心配ごと相談事業

心配ごと相談・行政相談・人権相談等の合同相談所を開設し生活支援に取り組みました。

##### 相談状況

地区	開催回数	相談件数	相談場所
中央	6回	20件	中央保健センター (中央ふれあいセンター)
柵原	5回	23件	柵原総合文化センター
旭	5回	19件	旭町民センター

## 8. 生活困窮者等支援事業の実施状況

生活困窮・経済的困窮者への支援として、様々な生活課題に対し整理し、フォーマル・インフォーマルの支援のネットワークを構築し、生活基盤を整え、自立促進を図るように努めました。生活用品、電化製品、自転車等の無償提供を行い、支援を地域全体に広げる環境づくりにも努めました。

### 8-1 生活困窮者自立相談支援事業(受託)

年間相談件数

新規相談	電話相談	来所相談	訪問(同行支援含む)	支援会議	プラン(詳細含む)
17件(世帯)	256件	120件	203件	28件	5件

※プランの内、自立相談支援事業による就労支援 2件  
家計相談支援事業 2件  
評価 1件

### 8-2. ぷらっと事業(ぷらっと会社“みさき”)

引きこもりや障害など、さまざまな要因で社会とのつながりが薄れ、生きづらさを抱えた人が社会に順応していくためには、まずは自分のペースで家の外に出ることから始める必要がある。そのため、町内の福祉施設と連携し、人との関わり・自分の役割が持てる居場所をつくり、そこから就労に向けての意識ができるよう支援に取り組みました。

○実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	7	0	2	0	1	4	5	6	7	6	11	11	60回
参加人数	7	0	2	0	1	4	6	6	7	9	15	15	72人

内容～グリーンカーテン作り、洗車、倉庫掃除、福祉施設でのボランティア等

### 8-3. 緊急物資提供の取組み

食糧支援 12件、衣料支援 1件、家電リサイクル・修繕 1件

## 9. 生活福祉資金貸付事業(県社協の事業)の状況

低所得者・障害者・高齢者等の生活困窮の世帯に対し、生活福祉資金の貸付・償還等の必要な援助指導を行うことを通して、その自立を支援することに努めました。

貸付状況

※新規貸付	償還済	利用件数
1件	1件	11件

#### 10. 福祉資金貸付事業（美咲町社協実施制度）の状況

生活困窮者を対象に一時的な貸付を行う場合に、生活費等の貸付を行うとともに、生活相談や日常生活援助指導を行いました。また、滞納者には福祉事務所等他機関と連携し償還指導に努めました。

##### 貸付・償還状況

新規貸付	償還済	利用件数（3月末現在）
1件	7件	12件

※同一人物への貸付、同一人物からの償還完了に関しては1件として計上

##### 償還指導状況

日付	送付件数	備考
7月25日	17件	※督促状送付対象者8名、残高証明書送付対象者9名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。
2月28日	11件	※督促状送付対象者7名、残高証明書送付対象者4名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。

#### （4）その他福祉事業の推進

##### ①福祉バス運行事業

美咲町の地域福祉の向上と地域福祉活動の一翼を担うことを目的として、社協の構成団体やボランティア・NPO団体、当事者団体、社協に登録のあるふれあいサロンや子育てサロンに福祉バスを貸し出して、福祉を目的とする研修や交流活動等の活動支援を行いました。

##### 利用実績

（単位：件）

老人クラブ	身障協会	更生保護	遺族会	サロン	VO団体	社協	計
5	2	3	1	70	3	6	90

（サロンについては、1団体年1回の貸出。サロンに「通いの場」5件含む）

##### ②福祉団体活動支援事業

町の補助により、福祉団体の自主的運営に対して助成を行い、自主活動の支援を行いました。

支援団体：4団体（美咲町身体障害者福祉協会・美咲町遺族会・美咲町保護司会・美咲町更生保護女性会）

##### ③広報活動の促進

広報紙「社協だより」を毎月発行し、社協が実施する福祉事業について周知を図るとともに、福祉活動や福祉情報等を提供してきました。また、ホームページ・フェイスブックを活用して情報をタイムリーに幅広く発信に努めました。

## (5) 地域包括支援センター事業

### 1 包括的支援事業

#### 1-1 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント事業）

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）は、要支援者及び事業対象者の方に、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況や置かれている環境、その他の状況に応じて、必要な援助を行いました。
- ② 75歳以上でサービスを利用していない独居高齢者や高齢者世帯を訪問し、生活の実態把握を行い、サービス等が必要と認められる場合はその支援を行いました。
- ③ 要介護状態になることを予防するため、個別ケア会議のなかで、介護予防ケアプランを作成するうえで、介護予防事業等適切なサービスが包括的に実施されるよう支援を行いました。

#### 1-2 総合相談支援事業

在宅の高齢者とその家族が、住みなれた地域で安心して生活することができるよう関係者と連携するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態を把握し、関係機関または制度の利用等への支援を行いました。

- ① 電話相談の場合は、積極的に訪問等の手段により実態把握を行い、また関係機関から情報収集等、支援が必要なケース等に早期に対応に努めました。
- ② 複雑多様な相談内容について、町及び関係機関と連携した支援ができるよう取り組みました。

#### 1-3 権利擁護事業

高齢者が、人としての人格・個性等侵害されることもなく、住み慣れた地域・家庭で安心して生活することができめよう、人権・生活等に関する相談に関係機関と連携し権利擁護の支援に努めました。

- ① 高齢者虐待の防止及び対応  
高齢者虐待予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るため、行政等関係機関と連携し対応に努めました。
- ② 成年後見制度の活用促進  
成年後見制度利用等の相談を受けた場合、権利擁護センター及び福祉事務所など関係機関と連携し支援に努めました。
- ③ 権利擁護アドバイザー会議の開催  
弁護士の助言のもと、困難事例の解決に向けた方策や高齢者虐待事案に協議し、その対応にも努めました。

- ④ 老人福祉施設への措置の支援  
虐待等の理由で老人福祉法上の措置が必要と判断した場合、担当課と協議し、措置入所につなげました。
- ⑤ 消費者被害防止

#### 1-4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

在宅の高齢者が住みなれた地域で安心して生活することができるよう、介護支援専門員はじめ多種職や関係機関と連携を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じ、介護支援専門員に後方的支援を行いました。

- ① 日常的な個別指導・相談
- ② 事例検討会の実施
- ③ 介護支援専門員研修会の実施
- ④ 美咲町介護給付適正化事業

## 2 会議等

### ① 地域ケア会議の開催

日常生活圏域（中学校区）の単位で、地域のサービス事業所等の関係者と、高齢者の実態把握や地域課題の発見・課題を検討し、その解決策や支援について協議を行いました。（2ヵ月に1回開催）

開催日	地区	議 題
4月 9日	中央	○ 小地域ケア会議の報告及び意見交換
4月 11日	旭	
4月 12日	柵原	
6月 4日	中央	○ 地域の情報交換について
6月 6日	旭	
6月 15日	柵原	
8月 2日	旭	○ 認知症見守り声かけ訓練について
8月 3日	柵原	○ 介護保険では対応できない困りごととその支援について
8月 6日	中央	
10月 2日	中央	○ 災害時の支援について
10月 3日	柵原	○ 介護保険では対応できない困りごととその支援について
10月 11日	旭	
12月 5日	中央	○ 認知症見守り声かけ訓練、オレンジカフェの報告と振り返り
12月 6日	旭	
12月 7日	柵原	○ 認知症施策について
2月 5日	中央	○ 高齢者の現状と地域包括ケアシステムについて



2月7日	旭	○ 生駒市地域ケア会議、個別ケア会議の視察報告
2月12日	柵原	

② 個別ケア会議の開催

多職種（医師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士等）による専門的立場から、要支援者及び事業対象者の自立支援に資するプランとなるよう支援目標やサービス内容を検討するため、月1回開催しました。

③ 小地域ケア会議への参加

3 在宅医療・介護連携事業への支援

地域包括ケアシステムの構築のために、行政及び関係機関と連携し、在宅医療・介護連携推進協議会で施策を協議し、事業を推進しました。

協議事項について必要な調査・検討を行うため、行政関係課等で部会を設置し、医療と介護の連携、認知症対策、生活支援等について協議を行いました。

- 1) 地域の医療・介護資源の把握
- 2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- 3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- 4) 医療・介護関係者の情報共有の支援ならびに研修
- 5) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 6) 地域住民への普及啓発
- 7) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

① 在宅医療・介護連携研修会

- 1) 開催日：平成30年7月18日  
講師：亀乃甲診療所 院長 岩本 博道  
テーマ：「在宅での熱中症とその対策」  
参加人数：37人
- 2) 開催日：平成30年10月19日  
講師：亀乃甲診療所 院長 岩本 博道  
テーマ：「感染症について～ノロ、インフルエンザ感染症について」  
参加人数：40人
- 3) 開催日：平成31年2月20日  
講師：医療法人こころ 勝北診療所 理事長 平井 龍三  
テーマ：「在宅医療ってなんだろう ～在宅医療の現状～」  
参加人数：29人

4 地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの運営や事業計画・予算、また事業報告・決算等につ

いて協議を行ないました。

#### 第1回運営協議会

開催日：平成30年6月28日

- 議 題：1) 平成29年度事業報告及び収支決算報告について  
2) 平成30年度事業計画及び収支予算について  
3) 在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況について

#### 第2回運営協議会

開催日：平成31年3月26日

- 議 題：1) 平成30年度事業進捗状況について

### 5 地域包括ケア会議の開催

住み慣れた地域でいつまでも安心して生活することができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に推進される「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、行政及び社会福祉協議会、関係機関とともに地域課題を共有・協議し、施策等の検討を行いました。

#### 第1回地域包括ケア会議

開催日：平成30年5月31日

- 議 題：1) 認知症施策について  
・徘徊模擬訓練について  
・GPSを利用した位置確認システムについて  
・支援の仕組みづくりについて

#### 第2回地域包括ケア会議

開催日：平成30年8月28日

- 議 題：1) 前回の包括ケア会議を受けて  
2) 認知症声かけ見守り訓練について

#### 第3回地域包括ケア会議

開催日：平成30年11月27日

- 議 題：1) 美咲町の防災体制等について  
2) 認知症施策について  
3) 配食サービスについて

#### 第4回地域包括ケア会議

開催日：平成31年2月27日

- 議 題：1) 認知症施策について  
2) 居場所づくりへの取り組みについて  
3) 平成30年度の取り組みについて

## 6 認知症総合支援事業

認知症対策について、医療や福祉サービスに繋がっていない方への支援として、専門職が認知症初期集中チーム員研修を受講し、医師（認知症サポート医）及び行政とともに認知症初期集中チーム設置の準備を進めました。

認知症の方が地域で安心して生活することができるよう、認知症地域支援推進員等が支援体制の構築を図り、また、キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座講師）が地域住民に認知症の正しい理解を広め、地域での良き理解者であるようサポーター養成に努めました。

旭小学校においては、6年生の福祉教育の一環として養成講座の時間を取り入れ小学生向けの講座を開催しました。

事業については、行政及び関係機関、団体等と連携するとともに、認知症事業連絡会を開催し、事業内容についての情報共有と検討、事業支援を行いました。認知症の方とその家族の交流の場や相談窓口として、認知症カフェ（オレンジカフェ）を開催しました。また、より身近な地域で開催できるよう、地域の担い手の養成講座を開催しました。（講師：美作大学教授 堀川 涼子氏）

また、今年度は認知症見守り声かけ訓練を初めて行い、民生委員及び専門職が認知症で道に迷っている方の声かけや対応方法を学びました。

### ①認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催

開催日	地区	場所	参加人数
10月22日	柵原地区	特別養護老人ホーム吉井川荘	21人
10月30日	旭地区	特別養護老人ホームあさひが丘	18人
11月13日	中央地区	中央保健センター	28人

### ②担い手づくり講座（2回講座）

開催日	対象	内容・講師	参加人数
3月6日	生活支援サポーター 地域住民等	認知症カフェの目的 美作大学 堀川涼子氏	29人
3月13日	生活支援サポーター 地域住民等	認知症カフェの開催方法の アドバイス美作大学 堀川涼子氏	25人

### ③認知症見守り声かけ訓練

開催日	場所	対象	参加人数
6月12日	中央保健センター周辺	民生役員・町内各事業所 専門職・行政等	51人
10月30日	中央保健センター周辺	民生児童委員中央支部・ 中央地区事業所等	26人

11月13日	旭支所 周辺	民生児童委員旭支部・旭地区事業所等	19人
11月21日	柵原支所 周辺	民生児童委員柵原支部・柵原地区事業所等	23人

④認知症サポーター養成講座

開催日	主な対象	受講人数
5月24日	柵原・久木さつき会（地域サロン）	18人
6月12日	民生児童委員協議会理事役員	25人
7月10日	柵原・緑町にここ会（地域サロン）	17人
10月30日	民生児童委員協議会 中央支部	24人
11月13日	民生児童委員協議会 旭支部	19人
11月17日	生活支援サポーター短期集中養成講座	19人
11月21日	民生児童委員協議会 柵原支部	17人
12月14日	旭小学校6年生	17人
3月12日	中央地域・三保地区住民	45人
3月31日	旭地域・西川通谷地区住民	30人

7 みまさか認知症疾患医療センター・認知症疾患医療連絡協議会への参加

みまさか認知症疾患医療センター（積善病院）が事務局となり、医療と介護を中心とした臨床倫理的課題克服を目指し、尊厳や人権を重視した臨床倫理の研修会に出席しました。

1) 臨床倫理研修

講師：臨床倫理コンサル 稲葉一人氏

- ・倫理的分析法としての4原則
- ・四分割法を使用した情報整理
- ・意思決定支援ガイドラインの理解

2) 認知症ケア推進会議

- ・認知症初期集中支援チームと認知症疾患医療センターとの連携
- ・4分割法の活用、相談受付表の一体化

8 指定介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者及び事業対象者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況と置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等関係機関との連絡調整を行いました。

サービス計画を作成する際、困難と思える事例については、多職種で構成する個別ケア会議でアドバイスを受ける等、適切なサービス計画の作成に努めました。

1 介護予防サービス計画作成実績 (単位：件)

審査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	129	128	124	127	126	123
(委託)	(8)	(8)	(7)	(7)	(7)	(7)
審査月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	123	122	119	122	119	(120)
(委託)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(4)

2 介護予防支援計画

	実績
訪問・面接	1,627件
電話	1,041件
サービス担当者会議	193件

### Ⅲ. 介護保険事業

介護を必要とする人が、住み慣れた我が家・我が地域で、家族や隣人に囲まれて安心して生活が送れるよう支援していくため、通所介護・訪問介護等の在宅福祉サービス事業に積極的に取り組みました。

また、住み慣れた地域で、可能な限り安心して暮らせるよう、地域密着の小規模特別養護老人ホーム事業にも取り組みました。

(1) 通所介護事業(デイサービス事業)

要支援・要介護状態にある高齢者等介護保険のサービス利用者が、可能な限り在宅で自立した生活が送れるよう、介護保険による通所介護事業に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

◎美咲町中央ふれあいセンター

①事業実施の概要

- ・利用定員 40人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時

- ・職員体制 管理者 1 名、生活相談員 3 名、看護職員 2 名、機能訓練指導員 2 名、介護職員 11 名、調理員 4 名、運転員 1 名

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要支援 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
30・04	25日	983人	74人 (7.5%)	0人 (0.0%)	611人 (62.2%)	298人 (30.3%)	40人
30・05	27日	1,042人	100人 (9.6%)	0人 (0.0%)	625人 (60.0%)	317人 (30.4%)	39人
30・06	26日	1,017人	86人 (8.5%)	0人 (0.0%)	646人 (63.5%)	285人 (28.0%)	40人
30・07	25日	989人	80人 (8.1%)	0人 (0.0%)	619人 (62.6%)	290人 (29.3%)	40人
30・08	27日	1,036人	86人 (8.3%)	0人 (0.0%)	628人 (60.6%)	322人 (31.1%)	39人
30・09	25日	976人	76人 (7.8%)	0人 (0.0%)	587人 (60.1%)	313人 (32.1%)	39人
30・10	27日	1,054人	74人 (7.0%)	0人 (0.0%)	623人 (59.1%)	357人 (33.9%)	39人
30・11	26日	957人	62人 (6.6%)	0人 (0.0%)	575人 (60.0%)	320人 (33.4%)	37人
30・12	24日	913人	58人 (6.4%)	0人 (0.0%)	556人 (60.9%)	299人 (32.7%)	38人
31・01	24日	931人	53人 (5.7%)	0人 (0.0%)	567人 (60.9%)	311人 (33.4%)	39人
31・02	23日	840人	45人 (5.3%)	0人 (0.0%)	529人 (63.0%)	266人 (31.7%)	37人
31・03	26日	998人	44人 (4.4%)	0人 (0.0%)	623人 (62.4%)	331人 (33.2%)	39人
合計	305日	11,736人	838人 (7.1%)	0人 (0.0%)	7,189人 (61.3%)	3,709人 (31.7%)	39人

(事業実施事業所)

◎ 美咲町柵原デイサービスセンターかしのき荘

① 事業実施の概要

- ・利用定員 25人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 管理者1名、生活相談員3名、看護職員3名、機能訓練指導員3名、介護職員8名、調理員3名

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年月	営業日	利用者数合計	現行相当	要支援 I～II	要介護 I～II	要介護 III～IV	1日 平均
30・04	25日	600人	111人 (18.5%)	0人 (0.0%)	352人 (58.7%)	137人 (22.8%)	24人
30・05	27日	643人	121人 (18.8%)	0人 (0.0%)	365人 (56.8%)	157人 (24.4%)	24人
30・06	26日	622人	104人 (16.7%)	0人 (0.0%)	378人 (60.8%)	140人 (22.5%)	24人
30・07	24日	509人	103人 (20.2%)	0人 (0.0%)	311人 (61.1%)	95人 (18.7%)	22人
30・08	27日	521人	110人 (21.1%)	0人 (0.0%)	294人 (56.4%)	117人 (22.5%)	22人
30・09	24日	493人	93人 (18.8%)	0人 (0.0%)	270人 (54.8%)	130人 (26.4%)	21人
30・10	27日	555人	103人 (18.6%)	0人 (0.0%)	346人 (62.3%)	106人 (19.1%)	21人
30・11	26日	533人	94人 (17.7%)	0人 (0.0%)	352人 (66.0%)	87人 (16.3%)	21人
30・12	24日	490人	82人 (26.7%)	0人 (0.0%)	331人 (67.6%)	77人 (15.7%)	21人
31・01	24日	469人	90人 (19.2%)	0人 (0.0%)	320人 (68.2%)	59人 (12.6%)	20人
31・02	24日	483人	69人 (14.3%)	0人 (0.0%)	334人 (69.2%)	80人 (16.5%)	20人
31・03	26日	588人	88人 (15.0%)	0人 (11.2%)	388人 (66.0%)	112人 (19.0%)	23人



合計	304日	6,506人	1,168人 (18.0%)	0人 (0.0%)	4,041人 (62.1%)	1,297人 (19.9%)	22人
----	------	--------	-------------------	--------------	-------------------	-------------------	-----

(事業実施事業所)

◎美咲町福祉の里 あさひが丘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 管理者1名、生活相談員2名、看護職員2名、機能訓練指導員2名、介護職員8名、調理員2名、運転員2名

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要支援 I～II	要介護 I～II	要介護 III～IV	1日 平均
30・04	25日	512人	93人 (18.2%)	0人 (0.0%)	257人 (50.2%)	162人 (31.6%)	21人
30・05	27日	574人	108人 (18.8%)	0人 (0.0%)	291人 (50.7%)	175人 (30.5%)	22人
30・06	26日	590人	102人 (17.3%)	0人 (0.0%)	269人 (45.6%)	219人 (37.1%)	23人
30・07	24日	544人	4人 (0.7%)	100人 (18.4%)	249人 (45.8%)	191人 (35.1%)	23人
30・08	27日	594人	4人 (0.6%)	98人 (16.5%)	282人 (47.5%)	210人 (35.4%)	22人
30・09	25日	573人	4人 (0.7%)	99人 (17.3%)	257人 (44.9%)	213人 (37.1%)	23人
30・10	27日	614人	5人 (0.9%)	96人 (15.6%)	304人 (49.5%)	209人 (34.0%)	23人
30・11	26日	552人	4人 (0.7%)	79人 (14.3%)	292人 (52.9%)	177人 (32.1%)	22人
30・12	24日	470人	4人 (0.8%)	83人 (17.7%)	244人 (51.9%)	139人 (29.6%)	20人
31・01	24日	475人	4人 (0.9%)	90人 (18.9%)	272人 (57.3%)	109人 (22.9%)	20人

31・02	24日	486人	4人 (0.8%)	98人 (20.2%)	254人 (52.3%)	130人 (26.7%)	21人
31・03	25日	502人	4人 (0.8%)	116人 (23.1%)	272人 (54.2%)	110人 (21.9%)	21人
合計	304日	6,486人	340人 (5.2%)	859人 (13.2%)	3,243人 (50.0%)	2,044人 (31.6%)	22人

## (2) 訪問介護事業（ホームヘルプ事業）

要介護状態にある高齢者等介護保険のサービス利用者が、できる限り在宅で自立した生活が送れるよう、介護保険による訪問介護事業に積極的に取り組みました。

また、町からの委託による「生活管理指導事業」を行ないました。

さらに、在宅で生活されている障害者を支援していくために「障害者総合支援事業」にも積極的に取り組みました。

（事業実施事業所）

◎美咲町ヘルパーステーションふれあい

### ①事業実施の概要

- ・営業日 月曜日～日曜日
- ・営業時間 8:00～18:30
- ・職員配置数 管理者1名(兼務) 訪問介護職員 15名

### ②事業実施状況

#### i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要支援 I～II	要介護 I～II	要介護 III～IV	1日 平均
30・04	30日	1,218件	70件 (5.8%)	0件 (0.0%)	603件 (49.5%)	545件 (44.7%)	41件
30・05	31日	1,140件	79件 (6.9%)	0件 (0.0%)	561件 (49.2%)	500件 (43.9%)	37件
30・06	30日	1,180件	84件 (7.1%)	0件 (0.0%)	570件 (48.3%)	526件 (44.6%)	39件
30・07	31日	1,164件	77件 (4.2%)	0件 (0.0%)	574件 (49.3%)	513件 (46.5%)	38件
30・08	31日	1,147件	82件 (7.1%)	0件 (0.0%)	509件 (44.4%)	556件 (48.5%)	37件

30・09	30日	1,049件	78件 (7.4%)	0件 (0.0%)	433件 (41.3%)	538件 (51.3%)	35件
30・10	31日	1,192件	80件 (6.7%)	0件 (0.0%)	507件 (42.5%)	605件 (50.8%)	39件
30・11	30日	1,182件	68件 (5.8%)	0件 (0.0%)	467件 (39.5%)	647件 (54.7%)	40件
30・12	31日	1,112件	62件 (5.6%)	0件 (0.0%)	464件 (41.7%)	586件 (52.7%)	36件
31・01	28日	1,004件	56件 (5.6%)	0件 (0.0%)	429件 (42.7%)	519件 (51.7%)	36件
31・02	28日	1,038件	58件 (5.6%)	0件 (0.0%)	437件 (42.1%)	543件 (52.3%)	37件
31・03	31日	1,160件	66件 (5.7%)	0件 (0.0%)	503件 (43.4%)	591件 (50.9%)	38件
合計	362日	13,586件	860件 (6.3%)	0件 (0.0%)	6,057件 (44.6%)	6,669件 (49.1%)	38件

ii) 生活管理指導事業

介護保険の対象にならない高齢者の介護予防や日常生活を支援するため次のとおり、生活管理訪問介護サービスを実施しました。

事業名	利用件数
生活管理指導	95件

iii) 障害者総合支援事業

障がい者への居宅サービスとして、次のとおり、サービスを実施しました。

事業名	営業日	利用件数
障害者総合支援	287日	945件

### (3) 居宅介護支援事業

介護保険によるサービスが適切に利用できるよう、また在宅介護を支援していくうえで要となる事業であるので、積極的に取り組みました。

(1) 事業実施事業所

- ◎中央居宅介護支援事業所 管理者(兼務) 1名 介護支援専門員 3名
- ◎柵原居宅介護支援事業所 管理者(兼務) 1名 介護支援専門員 1名
- ◎旭居宅介護支援事業所 管理者(兼務) 1名 介護支援専門員 1名

## 事業実施の状況

事業所	利用者数	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅴ	要介護 月平均
中央居宅介護支援事業所	1,713 件	1,180 件	533 件	143 件
柵原居宅介護支援事業所	1,069 件	777 件	292 件	90 件
旭居宅介護支援事業所	791 件	521 件	270 件	66 件

### ○訪問調査・予防プランの実施

町からの委託を受け、介護保険の要介護認定のための訪問調査等にも取り組みました。

- ・訪問調査件数 498 件（中央 244 件、柵原 121 件、旭 133 件）
- ・予防プラン件数 65 件（中央 5 件、柵原 0 件、旭 60 件）

## (4) 施設サービス事業

住み慣れた地域で、可能な限り安心して日常生活が送れるよう、施設運営に積極的に取り組みました。

- ・運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、施設運営状況・活動状況等を報告し、また施設運営に対する助言・要望等を聴く機会を設けました。
- ・入所者の100歳の誕生祝いをご家族や行政職員とともに催しました。  
また、季節歳時を取り入れた行事を実施しました。
- ・地域のボランティアの皆様のご協力のもと、あさひが丘の施設・環境整備にも努めました。

(事業実施事業所)

### ◎地域密着型特別養護老人ホーム あさひが丘

#### ①事業実施の概要

- ・長期入所利用定員 25名
- ・短期入所利用定員 4名
- ・個室 9室 2人部屋 10室
- ・職員体制 管理者1名(兼務)、生活相談員2名、看護職員3名、介護支援専門員1名、介護職員15名、栄養士2名、調理職員2名、宿直員2名

長期入所	稼働率	95.6%	平均介護度	3.8	前年比	102.4%
短期入所	稼働率	71.4%	平均介護度	2.9	前年比	96.0%